

いもむしのたからぶくろ

■プログラムの概要

ねらい	・知覚の8割を占める目（視覚）を隠すことで、他の感覚（聴覚、嗅覚、触覚）を使って自然を感じ取ろうとする感性を磨く。 ・精神を集中する。		
キーワード	身近な自然		
対象	幼児～一般		
時間	60分	実施場所	園庭・公園・団地の中庭など
使用するもの	・バンダナ（目隠し用） ・「いもむしのたからぶくろ」の創作紙芝居 ・風船と膨らませる器具（宝入れ）		
全体の流れ	1. あいさつ 2. ゲーム「コウモリとガ」 3. 読み聞かせ 「いもむしのたからぶくろ」の紙芝居を途中まで読み、自然のたからものを探しに行く。 4. たからさがし グループで目かくしレイモ虫の行動をする。（大人が補助する） 5. 発表 見つけたたからものを発表していき、風船を膨らませていく。最後に紙芝居を最後まで読み聞かせる。 6. まとめ グループごとに目かくしをして感じたことなどをふりかえる。		

■進め方

時間	活動内容	指導上の留意点
3分	<あいさつ> 自己紹介	・楽しく交流する
5分	今日の遊びの内容を説明	
7分	<コウモリとガ> 食物連鎖の上位のコウモリが下位のガを食べるため追いかける。ガは逃げる。超音波に代わり、コウモリは目隠しをして「バットバット」といいながら追いかけて、それを聞いたガの役の子は「モスモス」と答えながら逃げる。捕まったら輪に戻る。役割を交代して繰り返す。 ※幼児の場合コウモリは先生かスタッフが行う。	・屋内、屋外どちらでもできる。屋外が楽しい。 ・1グループ12～15人がやりやすい。そのうちコウモリ1人、ガ3人の計4人が輪の中に入り、残りの子で手をつなぎ、輪を作る。輪の子はモスモスと一緒に言わないこと。 (※プログラム「季節の自然と楽しく遊ぼう」参照)
5分	トイレ・水飲み休憩	保育園・公園のトイレ引率
15分	<読み聞かせ> 「いもむしのたからぶくろ」のお話を途中で読み、アゲハのお母さんを助けるためにたからさがしに行く。	・園庭などのフィールド 安全管理（事前チェック・活動中）
15分	<たからさがし> ・発表者、連絡係など役割を決めて探検隊を作る。 ・手で触らせたい草や葉、樹木の幹、草花などがある場所の近くへ行ったら、目かくしをして匂いを嗅いだり、葉に触ったりする。（目かくしは5分程度）2～3回それを繰り返す。 <発表> アオスジアゲハのお母さんを助けるため、見つけてきたたからものを発表し、袋に詰める活動を行う。（風船を膨らませていく）	・指導者が先頭で向かい合って誘導する。 ・触らせたい葉や花、歩くコースを事前に現地調査をして決めておく。 ・たからものは、空、風、葉っぱ、木、花などに分けて、発表していく。
5分	最後に、その風船を寝ているお母さんに吹きかけ元気にする。	・吹きかけるのは、紙芝居の絵面へ行き、ぱっとページが変わるようにする。
5分	<まとめ> 感想などふりかえり	・グループ毎・クラス全体などで分かち合い（人数による）

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
バンダナ	一人1枚	家庭から持参（大判ハンカチでも可）
紙芝居		NPOが用意
ゴム風船と器具		NPOが用意
集合用タイコ	一つ	園所有のもの

■実施にあたって留意する点

- ・ 保育園の自然環境の事前チェック、園庭・地域の公園など利用可能性などを下見しておく。

（以下、出前授業の場合）

- ・ 雨天時…コウモリとガ（出来たら5歳児以上）、音いくつ（3歳以上）などのプログラムに変更可能
- ・ 事前打合せ…実施1週間ほど前に行く。